

2. 河川の整備の基本となるべき事項

2-1. 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

基本高水のピーク流量は、基準地点^{みすじ}御筋歩道橋において $150\text{m}^3/\text{s}$ とし、これを河道に配分する。

表 2.1 基本高水のピーク流量など一覧表 単位： m^3/s

河川名	基準地点名	基本高水のピーク流量	河道への配分流量
岡ノ下川	御筋歩道橋	150	150

2-2. 主要な地点における計画高水流量に関する事項

岡ノ下川における計画高水流量は、基準地点御筋歩道橋において $150\text{m}^3/\text{s}$ とする。

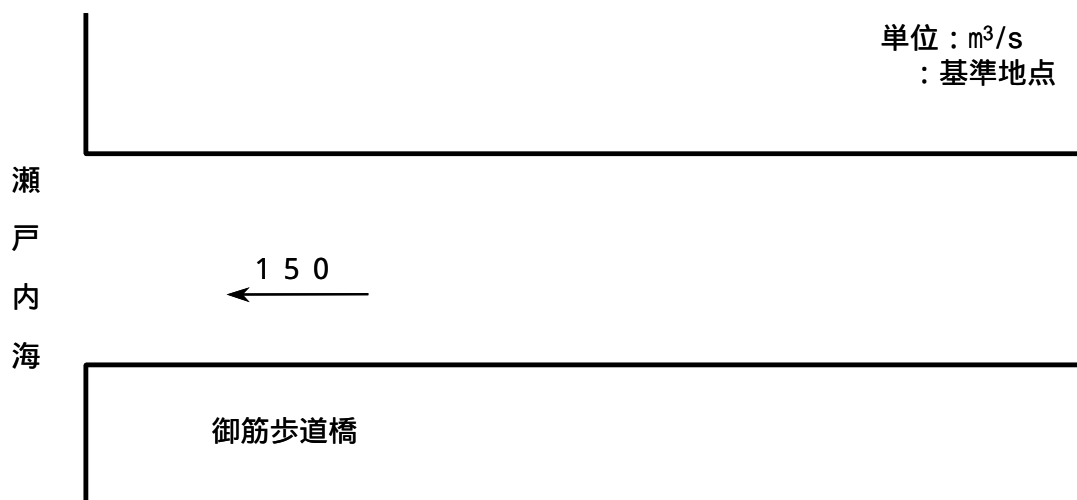


図 2.1 計画高水流量配分図

2-3. 主要な地点における計画高水位及び

計画横断形に係る川幅に関する事項

本水系の主要な地点における計画高水位及び概ねの川幅は次のとおりとする。

表 2.2 主要な地点における計画高水位など一覧表

河川名	地点名	河口からの距離 (km)	計画高水位 (T.P.m)	川幅 (m)
岡ノ下川	御筋歩道橋	河口から 1.08	+2.64	31

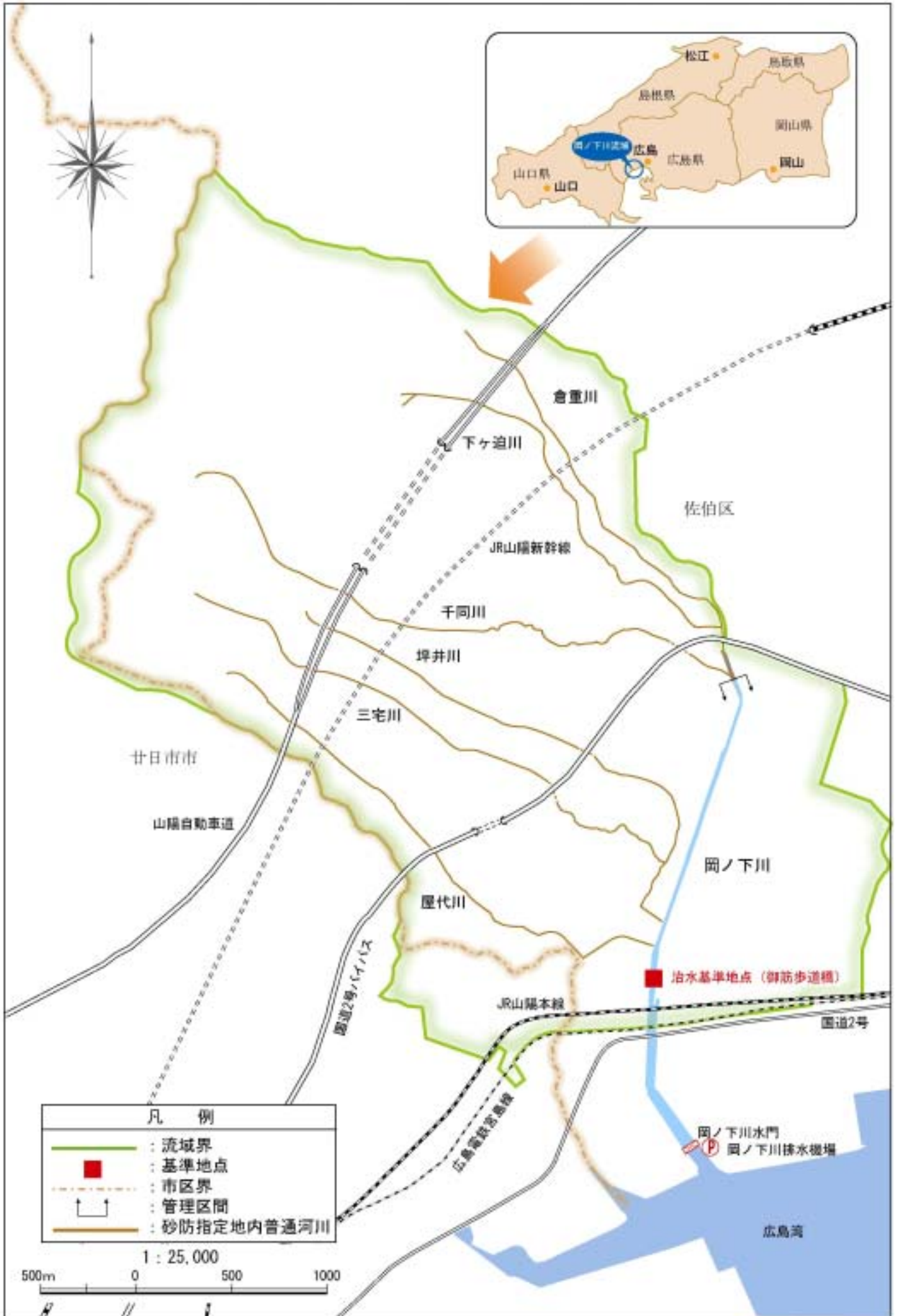
注) T.P. : 東京湾中等潮位

2-4. 主要な地点における流水の正常な機能を

維持するため必要な流量に関する事項

岡ノ下川では、河川からの取水は行われていない。また、大半が感潮域となっている。さらに上流部についても、異常湧水となった平成 6 年も含め、これまで大きな問題は発生していない。

流水の正常な機能を維持するために必要な流量は、流況などの河川の状況を把握し、動植物の保護、景観、流水の清潔の保持などを考慮して、今後さらに調査検討を行ったうえ設定するものとする。



策定日及び告示日

策定日	平成 15 年 7 月 8 日
告示日	平成 15 年 8 月 21 日